

地方議会評価モデル

第2回リーダー・サブリーダー会議 会議結果

令和4(2022)年6月3日(金) 13:00~14:48 第1委員会室

《出席者》

井坪議長（アドバイザー） 山崎副議長 古川運営PJチーフ 永井運営PJ統括

A班 小林リーダー B班 清水（優）リーダー 佐々木サブリーダー

C班 岡田リーダー 下平サブリーダー

事務局 近藤次長補佐 熊谷庶務係長 丸山

【○説明事項 □意見 ★確認事項 ◎検討事項】

【会議の要点】

★各班でのグループ討議をふまえた論点の報告を行い、各班の進捗状況の確認と今後の方針を確認した。

★今後の方針として以下の点を確認し、6月23日までに各班から事務局に報告する。

① B班が作成した書式を使用し、グループ討議の結果をふまえて、飯田市自治基本条例の「第6章 市議会の役割」の条項を起点として、議会プロフィールの項目「3. 現在の姿」を各班が整理する。

② グループ討議の結果をふまえて、議会プロフィールの項目「4. 今後の議会を取り巻く社会環境の変化」を、各班がカテゴリー別に短文で整理する。

★次回は、6月27日午後1時30分から、第1委員会室で開催し、上記の議会プロフィールの項目「3. 現在の姿」と「4. 今後の議会を取り巻く社会環境の変化を」各班で共有し、その他の項目についての方向性を確認する。

1 各班でのグループ討議をふまえた論点の報告

（永井統括から）

○議会プロフィールの「1. 議会に期待される役割（ミッション）」と「2. 議会が実現すべき理想的な姿（ビジョン）」の違いがわかりにくかったため、急きょ5月24日にリーダー会議を開催し、以下のとおり整理した。

「ミッション」＝他者（市民）から求められ、期待されていること（議会がやらなければいけないこと）。

「ビジョン」＝自分達（議会）がこうしたいと思うこと。

【A班】

- グループメンバーの考え方や方向性は、ほぼ合っている状況にある。
- 各自が作成した議会プロフィールを見ながら、各自のワード、フレーズを確認しながら共通認識の整理を行っている。
- ミッションは市民目線での見方、ビジョンは自分達が取り組むべき姿として整理ができている。
- グループ討議では、議会プロフィールの項目1から4までの検討を行い、「5. これから取り組むべき課題」については、メンバーから考える時間がほしいと要望があったため、検討はこれからである。

（1. 議会に期待される役割（ミッション）について）

- グループ討議をふまえて出されてきたミッションのキーワードとして、市民の意見を聴く、行政の監視、情報公開、政策決定、政策提言などが挙げられる。
- 上記のキーワードを文章化すると「市民の代表であり、市民の意見を聴きながら、説明責任を果たし、行政の監視、情報公開を行いながら政策提言、政策決定などを行っていく議会」となる。
- ミッションについては、いろいろなことを包含した言葉で表現できるといいのではないか、どの世代でも理解できるわかりやすい表現にした方がいいのではという意見が出た。

（2. 議会が実現すべき理想的な姿（ビジョン）について）

- ビジョンについては、議事機関としての責務は大前提であり、キーワードとしては、個々の議員活動、合議体、政策サイクル、執行機関との対峙が挙げられる。
- 「飯田市としての政策サイクル」の注釈、附帯資料があってもいいのではないかという意見があった。

（3. 現在の姿について）

- 議会での活動以外に、議員としての活動、会派としての活動が大事な視点ということで、(1)に関しては幅広く活動を記載してはどうかという意見があった。
- (1)の課題として、政策サイクル以外の議会活動に関する研究結果（委員会の研究活動など）を市民にフィードバックする方法を課題として取り上げるべきとの指摘があった。
- (4)に関して、「議会として」また「個人として」というように、記述の仕方を工夫したらどうかという意見があった。

（4. 今後の議会を取り巻く社会環境の変化について）

- 環境問題、経済など、カテゴリー別にまとめてはどうかという意見があった。

【B班】

- 項目3と4の内容をグルーピングし、グルーピングした内容をふまえた上で項目1と2に関してメンバーの考え方を聞くという投げかけを行った。
- ミッションとビジョンを整理するためには、項目3と4の踏まえる必要があることを確認した。
- 項目3と4は、事実であったり、議会全体の共通項であるため、各班で共通の事項、目合わせしたものを、議会プロフィールとしてABC班として統一した内容として整理していったほうがよいのではないか。
- ミッションとビジョンについては、各自がどのような意図で記載したのかということに重きを置いて、次のリーダー・サブリーダー会議に提案できればと考えている。
- 地方議会評価モデルで大事なものは、まとめる作業ではなく、議論のプロセスであることを当初確認しているが、ミッションとビジョンの議論と作成の過程を大切にして、各班からの議会プロフィールの提出締切を7月13日から延期してはどうか。
- 「3. 現在の姿」について、議会改革・運営ビジョンの実現に向けた取り組み（一覧）を参考に、飯田市自治基本条例の「第6章 市議会の役割」の条項を起点として、各議員の記述を整理してみた。
- 上記の整理により、議員会の同じ考え方、切り口の違いが見えてきたほか、飯田市オリジナルの飯田市自治基本条例の条項を起点として「3. 現在の姿」を考えることで、議会プロフィールの項目の不足が判明するなど、新たな気づきが生まれてきた。

【C班】

- 6月1日までに2回のグループ討議を行い、議会プロフィールにおける1から5までの意見のとりまとめを行った。
- 各議員からの意見について、共通項を洗い出すなどのポイントの整理に力点を置いている。
- ポイントが多様な場合も、否定や削除はせず、シートに反映させることを基本とした。
- 6月21日に予定する第3回グループ討議では、評価シートの途中経過を確認しつつ2巡目の意見交換を行い、「6. 通任期の活動目標・アクション」を議論しようと考えている。

岡田リーダーが気づいた点と全体集約に向けて提案したい点は以下のとおり。

(1) 評価プロフィールの体裁

会津若松市議会を参考にA3大の様式になっているが、記載したい情報量に対してスペースが小さく感じる。策定後、公開資料にする点も考慮するとA3大とA4大、またはA3大2枚分に分割するのが良いのではないかと。

(2) 項目1「ミッション」と項目2「ビジョン」の違いは分かりづらく、初期段階から議論が白熱した。公開資料にまとめる際は分かりやすい副題を添える必要がある。

- (3) 項目3「現在の姿」のうち、「(3) 議会独自の視点での政策の調査・立案」は「議会の強み」に読み替えられると日本生産性本部より助言を受けた。そうであれば、(1)(2)(4)と並列の扱いにせず、項目3の集約欄として独立させる方が良いのではないかな。
- (4) 同じく項目3のうち(4)については、(1)(2)で拾いきれなかった分の「その他」項目に読み替えられると助言を受けた。
- (5) C班グループ討議の中では「地区要望と全市的政策視点の板挟みになるジレンマ」「二元代表制を意識する中で、執行機関側との向き合い方」など、評価プロフィールの記入様式に直接当てはまらないものの核心に迫る対話がされた。
- 各議員が提出した評価プロフィール、グループ討議の会議録も「全議員が参加して作成する議会評価モデル」の見地から高い価値があると考えます。
- これらは成案化される評価シートと別に（非公開資料として）、記録保存する価値があるのではないかな。
- (6) 基本データの中に「予算規模」（一般会計）の欄がある。自治体の規模を図る上で分かりやすいが、国県補助や起債など各年度の状況に左右される。予算規模と別に、標準財政規模など身の丈を測りやすい指標も加えてはどうか。

各班からの論点報告をふまえて、以下のとおり確認した。

- ★議会プロフィール「3. 現在の姿」は、議会改革・運営ビジョンの実現に向けた取り組み（一覧）に則り、飯田市自治基本条例の「第6章 市議会の役割」の条項を起点として整理する（(1)から(4)までの振り分け方についても可能な限り記載する）。
- ★上記の整理の結果、議会プロフィール「3. 現在の姿」の書式変更が必要となる場合は、日本生産性本部と話し合いを行う。
- ★議会プロフィール「4. 今後の議会を取り巻く社会環境の変化」は、各班で、カテゴリー別に、各議員取り上げている内容をピックアップして、短い文章でまとめる。
（例）人口減少・少子高齢化に基づく課題の噴出 など
- ★上記の議会プロフィールの項目3と4についての整理の結果は、遅くとも6月23日までに各班から事務局に提出する。
- ★議会プロフィールの項目3と4について、6月27日の第3回リーダー・サブリーダー会議で各班からの報告内容を揉んで、再度各班に持ち帰り確認を行う。

(議長から)

- リーダーとして考える上で、短文でまとめるということは非常に大事なことです。
- 議員はさまざまな意見を持っているが、共通項を整理することについては、ある程度リーダーに委ねられているという認識をもって進めていただきたい。

(副議長から)

- 今後の方針として、議会プロフィールの項目3と4の目合わせを行った上で、項目1のミッションと2のビジョンを作成し、項目5と6に進んでいくという共通認識ができた。
- B班では、項目2のビジョンがいつの時点を目指すのかについて、2028年にとどまらず、議会のあるべき姿というものをビジョンとして挙げたほうがいいのかという意見があった。今後の議論を錯綜させないためにも、ビジョンの時間軸についての共通認識をつくっていく必要がある。

2 今後の進め方について

当面の予定

項目	日時
第3回リーダー・サブリーダー会議	6月27日（月）午後1時30分から
各班からの議会プロフィールの提出締切	7月13日（水）（ <u>延期の可能性あり</u> ）
地方議会評価モデル運営プロジェクト会議	7月15日（金）午後4時30分から
第4回リーダー・サブリーダー会議	7月19日（火）午後1時30分から

- 議会プロフィールの作成、各項目の整理については、議会活動について理解を深めたい議員が積極的に関わるとよい。
- ★議論の記録（会議の内容、開催日時等）を書き留めておき、最終的に報告書としてまとめる。
- ★それぞれの班の進行状況がわかるような「作業ボックス」をサイドボックス上に作成し、リーダーとサブリーダーが閲覧できるようにする。
- ★ビジョンの時間軸についての議論は、今後整理していく。

以上